

○議長（井上勝彦君）順番5、16番 堀内君。

〔16番（堀内和久君）登壇〕

○16番（堀内和久君）皆さん、こんにちは。堀内でございます。議長のお許しをいただきましたので、一般質問をさせていただきます。大きく三つございます。

大項目1. この夏からの15%節電対策とE C Oエネルギーについて。

昨年以上に猛暑になると言われる中、さらなる節電が求められています。東日本大震災以降、さまざまところで節電を心がけていただいていると思いますが、かなり限界に近く、原発安全性問題の中、新しいエネルギーで補うのも、もう一つの節電であると考え、お尋ねします。

この質問を考えている、再質問を考える途中にいろいろありまして、大飯原発再稼働とかなれば、少し質問の意味が変わるかと思われませんが、あえて自然エネルギーをとという方向性も踏まえてお尋ねします。

（1）関西電力の電気が本当に不足した場合、市民の生活（計画停電など）。

（2）市役所や防災避難場所、公民館、集会所などに太陽光パネルや蓄電池の設置、電気自動車の所有など。

（3）国の住宅太陽光補助金（1kW約3万円）プラス市の補助金など。

大項目2番、黒河道世界遺産に向けての周辺整備と周りの歴史発掘について。

当局には予算を計上していただいたおかげで、国城山頂から橋本領の道は、かなり美しく歩きやすくなりました。が、しかし、まだ国城山までの道で、今後もっと整備が必要であると同時に、地元の環境整備やPRなど、

やるべきことはまだまだたくさんあると思い、以下のことをお伺いいたします。

これもその前に、少しご報告なんですけども、先日、九度山町長に私たち新風クラブでご訪問させていただきました。議員の仕事というのは、内容はいろいろ多くあるわけですが、何かのきっかけ、パイプ、御用聞き、こういうのも私は仕事であると思っております。今回、本市木下市長も黒河道世界遺産に向け、かなり前向きで気持ちが入っていることをお伝えし、九度山町にも連携協力をお願いしてきました。九度山町といえば、観光PRに力を入れており、南海電鉄のテレビのCMを始めて、まちを挙げて祭りなど、町民の意識や周知度は高いように私は思います。

そこで、（1）本市より市民への周知度はいかがですか。

（2）道しるべであるほこの位置、進行道及び方向（パンフレット）など歩く人にわかりやすく。

（3）スタート地点とされる賢堂定福寺と国城山の給水、トイレ、休憩場など。

（4）これを機会に賢堂定福寺周辺の環境整備を。

（5）これを機会に紀伊清水駅周辺の歴史の発掘と表示とパンフレットなど。

大項目3番です。野球場もしくは運動広場について。

橋本運動公園の空き地についてですが、昨年6月議会において野球場建設予定はなしとのことでしたが、今後、土地利用について。そして、小・中学校、公式、これは硬球と軟球を含む大きな公式大会であるとお考えいただきたいと思います。社会人野球などの橋本

市での県大会開催について、以下をお伺いします。

(1) 本市橋本運動公園空き地を多目的グラウンドに。

(2) 本市より空き地内の私有地の買収予定はございますか。

(3) 今回のように、台風により南馬場運動公園などが使えないときのため、ほかのグラウンドのかわりの場所はないのか。

(4) 今後、球場までの設備でなくとも、野球グラウンド、ソフトボールなどできる橋本市内でご検討いただけませんか。

ご答弁のほど、よろしく願います。

**○議長（井上勝彦君）** 16番 堀内君の質問項目1、この夏からの15%節電対策とE C Oエネルギーに関する質問に対する答弁を求めます。

市民部長。

〔市民部長（井浦健之君）登壇〕

**○市民部長（井浦健之君）** 関西電力の電気が本当に不足した場合の市民生活（計画停電など）についてのご質問にお答えします。

東日本大震災の原発事故による電力不足に対応するため、国をはじめさまざまな機関で議論が行われ、また、マスコミ等においても連日報道がなされているところであります。

本市といたしましても、現在、関西電力と計画停電時の市民への周知等について協議を行っているところですが、今夏の節電については、各家庭に対し、お盆を除いた7月2日から9月7日までの平日9時から20時の間15%以上の協力要請があります。

また、大幅な電力不足に陥った際には、関西電力管内を6グループに分けて、順番に計画停電する方向で検討されているようです。

なお、大飯原発3、4号機が再稼働すれば、関西電力の供給力が大幅に回復することとなりますが、いずれにいたしましても、今月末

頃までに関西電力より方向が発表されると聞いています。

こうしたことにより、現時点で具体的な電力不足による市民生活の影響についてお答えできませんが、少なくとも快適性や利便性を損なうだけでなく、場合によっては、健康・生命・安全などの面で影響が出る可能性があります。本市といたしましても、今後も必要に応じ、関西電力と協議を行ってまいりたいと考えています。

次に、国の住宅太陽光補助金（1kW約3万円）とプラス橋本市の補助金についてのご質問にお答えいたします。

東日本大震災以降において、太陽エネルギーの有効利用の必要性について、社会的にも高まっています。

現在、和歌山県内においては、和歌山市と有田川町及び広川町の1市2町が補助金制度を実施している状況であります。地球温暖化対策は、国を挙げての喫緊の問題であります。太陽光発電導入量を拡大することで、エネルギー源の多様化に加え、温暖化対策や経済発展にも大きく貢献できるものと期待されます。市といたしましても、太陽光発電設置の補助金制度は、エネルギー自給率を向上させるとともに地球温暖化対策として多大な波及効果があり、必要性は認識しているところですが、再生可能エネルギー全体を検討する中で、市の財政状況、また、他の市町村の状況を見ながら調査研究を行っていきたいと考えております。

**○議長（井上勝彦君）** 総務部長。

〔総務部長（森川嘉久君）登壇〕

**○総務部長（森川嘉久君）** 市役所などに太陽光パネルや蓄電池の設置を、とのご質問にお答えいたします。

市役所本庁舎等への太陽光パネルの設置につきましては、多額の費用が必要になるとと

もに、本庁舎屋上等にパネルを設置する場合、設置台数にもよりますが、荷重に対する構造上の問題等があり、困難であると考えております。市といたしましても、災害時等の停電に対応するための重要な設備であると考えられることから、危機管理の一環としまして必要性は認識をしておるところでございます。

なお、現在建築中の（仮称）橋本市保健福祉センターには、太陽光パネルを設置することとしています。

今後、太陽光パネルや蓄電池について、設置場所等、多方面から研究、検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

次に、電気自動車につきましては、2台購入し、同じく（仮称）橋本市保健福祉センターに配備する予定となっております。

また、各課所管の公用車約140台のうち、平成21年度で100%地域活性化・経済危機対策臨時交付金によりまして、28台のエコカーを購入しております。残りの約110台は従来の車両となっており、その中には、使用年数が長い車両もございますので、今後、買い替えが必要となった場合には、財政事情も踏まえつつ、電気自動車の購入も選択肢の一つとして考えてまいりたいと考えております。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君、再質問ありますか。

16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）それでは、順を追って再質問、少しだけさせていただきます。

根本的に計画停電などあってはいけないというのが現状なんですけども、大飯原発の問題はじめ、実際6グループとありますが、具体的にはおわかりですか。

○議長（井上勝彦君）市民部長。

○市民部長（井浦健之君）先ほど演壇での答弁で、計画停電、6グループに分けてされる

というふうに答弁させていただいたわけなんですけども、これは関西電力管内に917箇所の変電所があるらしいです。それを6つのグループに分けるということで、具体的にそのグループ指定は、今週末に関西電力のほうから発表されるというように聞いております。

以上です。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。私の個人的な見解なんですけども、計画停電、前に東京電力のほうであったと思うんですけども、やはり都心で電気の必要性の高いところほど計画停電の枠から外れる。私ごとですけども、川南であったりとか、高野口の山岳部であったりとか、そういうところが電気がないというのは、やっぱり皆平等であるべきやと私は考えておりますので、その点のほど、またよろしく願いいたします。

次に、健康・生命・安全性に影響がないように協議というふうにご答弁いただいているんですけども、きょうもクーラー、これだけきいているんですけどね。もう暑いシーズンです。協議の答えというのは、いつぐらいになるでしょうか。お願いします。

○議長（井上勝彦君）市民部長。

○市民部長（井浦健之君）関西電力の橋本営業所と協議をさせていただいておるわけなんですけども、営業所の担当の方のお話では、きちんとした発表というんですか、それがだいたい6月の末ぐらいに関西電力のほうから、いろんな手だて等についてもあわせて発表されるというふうに聞いております。

今、私どもが一番気になっておりますのは、計画停電をされた場合に、家庭でいわゆる人工呼吸器等を使っておる方がおられるわけなんですけども、その場合にどうするんかということは、一応気になっておるわけです。そのことについて関西電力のほうに問い合わせしま

すと、関西電力のほうで発電機を持っておるようでございます。そういった家庭については、優先的に関西電力の発電機を無料でお貸しをしたいというふうに考えておるといった回答もいただいております。

現在のところ、そういった程度の協議ですけども、正式な発表があり次第、きちんと細かい部分も協議させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）わかりました。

次に、2番なんですけども、保健福祉センターにつきましては、12月議会において、ありがたいご答弁をいただいております。太陽光パネル、電気自動車なんですけども、特に聞くことはないんですけども、保健福祉センターに電気自動車が2台入るということは、電気スタンドが1箇所ないし2箇所できるというふうに私は思うんですけども、当然やと思うんですけども、平成22年、23年、24年、車購入ということで300万円前後の予算を毎年計上していると思うんですけども、保健福祉センターができた後、平成25年、26年は、同じような、車は消耗品ですから壊れていくと思うんですけども、そのときに電気自動車の購入というのは検討していただけますか。

○議長（井上勝彦君）総務部長。

○総務部長（森川嘉久君）先ほどもご答弁させていただきましたように、耐用年数が来た車については買い替えが必要でございます。その際、現状、電気自動車につきましては、かなり高額な金額でございます。しかしながら、以前と比べてかなり価格も低下してきておりますし、国の助成措置もございますので、そういうことも含めまして、それからガソリンの燃料代と、電気は今ちょっと逼迫状態で、若干問題点があるかとは思いますが、今

後の展開を見ながら、その経済性も比較検討をいたしまして、財政とあわせまして、できるだけ購入の方向で考えていきたいというふうに思います。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）よろしく申し上げます。前にも申し上げましたが、電気自動車、種類にもよりますけども、災害時に電気を運ぶという面では、かなりすぐれたとらえ方もできると思いますので、なにとぞまたよろしく申し上げます。

次、3番なんですけども、国の住宅太陽光補助金の件なんですけども、今、よくテレビとかでも見ると思うんですけども、事業者向けというか、企業向けのメガソーラーというか、42円、20年間固定買い取りとか、そういった形で民間の方でもエコエネルギーをつくるという面で、かなり皆さんご活躍というか、ご協力いただいておりますが、今回は、それを外させていただいて、一般の住宅用の太陽光補助というのに絞らせていただきまして、ここに、国1kW3万円と書いてあるんですけども、実際、市民部長ともいろいろお話させていただいた結果、インターネット等で助成が受けられるホームページ一覧というか何というか、国から3kW付けた場合、橋本市の場合、国から3万円、和歌山県から2万円、3kWで掛けると、橋本市からはなしですので15万円いただけると。先ほどの答弁にもあったんですけども、有田川町、広川町、特にこの広川町はすごい金額、これは3kWで全部足すと36万円ですね。

これ、だいたいの平均の相場で言いますと、3kW一般家庭の屋根に乗ると150万円前後やと思うんです。150万円要らないと思うんです。補助内容が50万円前後であるということが条件になってくると思うので、かなりこれ、民間の企業以外で、一般家庭でしたら、元を取

るという言い方は不適切なんですけども、かなり市民にも手の届きやすい範囲の金額になってきていると思うんですけども、本市の、橋本市のお考えといたしまして、経済的に苦しいのはよくわかっているんですけども、こういう補助とか、国、県、そして橋本市というふうなお考えはないのでしょうか。お願いします。

○議長（井上勝彦君）市民部長。

○市民部長（井浦健之君）太陽光発電に対する市の補助金はどうですかというご質問だと思うんですけども、昨年一年間で、橋本市内で太陽光発電の工事を何件されたかという資料があるんですけども、これは関西電力のほうからいただいた資料なんですけども、それで言いますと、去年、平成23年度で、新規で約170件の方が太陽光発電を設置されているというふうに聞いております。これでいきますと、例えば、1kw2万5,000円といった平均的な全国の補助金を出している自治体の数字でいきますと、約1,275万円の市費が要ってくるという状況になってきます。

一つ、参考なんですけども、和歌山県の年間の日照時間というのは、全国でだいたい何番目に入っておるのかなという、ちょっと調べさせていただきました。そしたら、全国の中で8位なんです。それだけ和歌山県というのは日照時間が多くあるということなんですけども、紀南と紀北で多少違うかなとは思いますが、そういった観点から申しますと、こういったエネルギーというか、うまく使っていくということが必要じゃないのかなというふうに、私は今考えております。ただ、補助金を設置することについては、これは財政当局なり、市の内部で十分検討はさせていただかんと思うんですけども、そういった状況の中からはいいますと、おいしいかなといった考えを持っておるといってござい

ます。

以上でございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。先ほど17番議員もおっしゃってたんですけども、こういったことは財政の負担は避けては通れない、私もそのように思いますので、今後、財政苦しい中で申しわけないですが、ご検討よろしく願いいたします。

次、2番、お願いいたします。

○議長（井上勝彦君）この際、16番 堀内君の、黒河道世界遺産に向けた周辺整備と周りの歴史発掘に関する質問に対する答弁を保留いたしまして、2時25分まで休憩いたします。

（午後2時10分 休憩）

（午後2時25分 再開）

○議長（井上勝彦君）休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。16番 堀内君の、黒河道世界遺産に向けた周辺整備と周りの歴史発掘に関する質問に対する答弁を求めます。

経済部長。

〔経済部長（浦 彰伸君）登壇〕

○経済部長（浦 彰伸君）黒河道世界遺産に向けての周辺整備と周りの歴史発掘についてお答えいたします。

議員おただしの黒河道は、「高野七口」の一つであり、黒河口に至る高野参詣道で、本市賢堂から国城山東麓の明神ヶ田和を越え、丹生川を渡って市平、久保を経て高野山千手院口に至る街道であります。橋本市・九度山町・高野町の1市2町が関係するもので、かつての姿がよく残されていることから、世界遺産の追加登録をという機運が高まり、本市としても積極的な取り組みを進めているところで

黒河道に関する市民の周知度ですが、現在、市として黒河道の周知活動を十分に行っている状況ではありませんが、平成23年度に橋本・伊都広域観光協議会において、黒河道を含む街道ハイキングマップ「和歌山県街道マップ高野七口」が作成され、本市観光案内所、観光施設、各種イベントなどで配布しています。しかし、このマップは各街道を歩いて触れていただくことが目的であり、学術的な調査研究に基づきルートを規定したものではありません。したがって、本来の黒河道とは若干違うルートとなっている箇所があるため、今後、調査研究が進み、史跡登録へ向けたルートが確定していく中で、パンフレットの改訂や新たなガイド本制作を行うとともに、本来の街道整備を検討してまいります。

また、黒河道について市民の皆さまに広く知っていただけるよう、本市広報やホームページ等でも紹介していけるよう準備したいと考えます。

次に、道しるべであるほこらの位置、進行道及び方向などを、歩く人にわかりやすくというご質問ではありますが、本来、ほこらは黒河道の道しるべであり、数箇所あるほこらの中には、非常に眺望の良い場所に位置するものもあります。しかし、現地を訪れる人にはほこらの位置が確認しづらい状況となっています。

現在、世界遺産登録の前提条件である国の史跡指定を平成26年度中に申請するため、調査と整備の業務を進めています。本年度は、文化庁の歴史のみち整備国庫補助事業として、現況測量図の作成と荒廃区間の整備を予定しています。特に、荒廃区間における倒木処理や道の補修を行うとともに、一部ルート案内板の設置もできればと考えています。

次に、スタート地点とされる賢堂定福寺と国城山の給水、トイレ、休憩場などについて

ですが、現状はコース途中にそのような施設はなく、街道を歩く方にご不便をおかけしているところですが、今後、黒河道の総合的な保存と活用計画を立案していく中で、必要な箇所に必要な施設の整備を行っていくべきであると考えています。ただし、現場を改変することにより、史跡登録から除外される場合もあることから、施設整備の改変にあたっては、国、県と綿密な協議を行い、慎重に取り扱っていきたいと思います。

次に、賢堂定福寺周辺の環境整備についてですが、現在、国道370号からの進入路も十分に広いとは言えず、また、周辺に駐車場や案内の看板も整備されている状況とは言えません。訪れる人が快適に黒河道を楽しんでいただけるよう、また、来客者によって周辺集落の環境が悪化しないために、定福寺周辺の環境整備についても、黒河道の総合的な保存と活用計画を立案していく中で、必要な整備を検討していくべきものと考えています。

最後に、紀伊清水駅周辺の歴史の発掘と表示、パンフレットなどについてですが、南海高野線紀伊清水駅周辺には、平成9年度に和歌山県ふるさと建築景観賞を受賞した「清水の街並」、かつて紀の川の渡船の発着場であった「三軒茶屋大常夜燈籠」、江戸時代に重い年貢の負担から農民を救った戸谷新右衛門をまつたお堂がある成就寺など、歴史文化に関する旧跡があります。

これらを紹介するため、橋本市観光協会が作成し、橋本駅前のはしもと広域観光案内所などで配布しております観光パンフレット「はしもとまん福なび」で、紀伊清水駅から学文路駅までの散策モデルコースを訪れる人に向けて提案しています。また、平成22年に発足した「橋本観光ガイドの会」のガイドプランの一つとして、清水地区から学文路地区までを案内するコースも用意しています。

今後、これらパンフレットの配布場所を市外・県外まで増やすなど、より多くの皆さまへの周知に努めてまいります。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君、再質問ありますか。

16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）順を追って再質問させていただきます。

今回のこの答弁を聞かせていただいて、すばらしい答弁、ありがとうございます。経済部長におかれましては、感謝と敬意でいっぱいでございます。

その上で、再質問、ものすごい考えにくいというか、少ないんですけども、少しだけ。これからの橋本市は観光であるという方面から、経済部長にお尋ねします。

1. ホームページ、広報で大きく取り上げていただけるということですが、具体的にいつからですか。

○議長（井上勝彦君）経済部長。

○経済部長（浦 彰伸君）先ほど答弁させていただきましたように、広報関係については若干遅れてございます。これも世界遺産への追加指定というものが目的でございますので、黒河道を広く知っていただくために、市の広報、あるいはまた先ほども言いましたように、ホームページ等で掲載していきたいという考えは持っております。

時期ということでございますけれども、できるだけ早い時期、特にハイキング等というふうに考えましたら、やはり時期的には秋頃かなというようなイメージを持ってございますので、今年の11月ぐらいを何とかめどとして、市の広報などにも掲載の仕方等もいろいろあるわけでございます。特集を組んで掲載するとか、あるいはまた、今後定期的に世界遺産の機運を高めるという意味合いで、特集を組んでやっていくというような、いろんな

形があろうと思いますので、担当部局、教育委員会等々とも協議しながら、できるだけ早い時期に掲載していけるようにやっていきたいなというふうに考えておるところでございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

PR期間なんですけども、高野山1200年祭以降も、その年がゴールであり、これからがスタートでもあると、そういうふうに私は認識しておるんですけども、当局も同じ考えということによろしいですか。

○議長（井上勝彦君）経済部長。

○経済部長（浦 彰伸君）行政当局も全く同じ考えでございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

そしたら2番なんですけども、道しるべであるほこの位置なんですけども、私、よく知人に歩く方が多いので言われるんですけども、黒河道歩いたよと。ほこら、言うておったけど、どこにあるのかなということと、道に迷ったと。どっちの道行ってええかわからへんと。マップがちょっと微妙やったと思うんですけども、一緒に行ければいいんですけども、地元じゃない方というのは、ちょっと、かなり難しいと思われるんですけども、そういった意味で、平成26年と言わずに、仮で先に何かちょっと道しるべというか、プレート的なものを作成願えないでしょうか。

○議長（井上勝彦君）経済部長。

○経済部長（浦 彰伸君）確かに迷われる箇所が数箇所あるように、私も一度歩かせていただいて感じました。特にまた、ほこらについては、ちょっと歴史的な経過等についてはまだまだ調査不足という形ではございますけれども、歩いていただける方が、少なくともコースを間違わないという程度の表示につい

ては、これはもう早急にさせていただくというふうに考えてございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）そしたら、よろしくお願ひします。前にも言うてあったんですけども、こういう古道というのは、私が言うのもおかしな話なんですけども、人生と同じで、市長も歩いていただきましたし、人が歩いたところに道ができると。そういったこともあるので、早急によろしくお願ひします。七口のパンフレットに関してですが、若干違うルートという答弁があったと思うんですけども、新しいマップに期待しておりますので、それは要望です。よろしくお願ひいたします。

次、3番、スタート地点とされる賢堂定福寺と国城山の給水、トイレ、休憩場なんですけども、必要な箇所、必要な施設の整備、私も同じ気持ちなので、これも要望ということでよろしくお願ひします。

前に、市議員任意で黒河道橋本領を歩いていただいたときのことなんですけども、たくさんの方、事務局の方も行っていただいたんですけども、どこで休憩したか、どこで集合したか、それがご理解いただいていると思うんですけども、それが給水、トイレの場所、そういうふうに思っているかと思っでよろしいですか。お願ひします。

○議長（井上勝彦君）経済部長。

○経済部長（浦 彰伸君）実は、そのときに私も歩かせていただきました。これは人、千差万別でございます。ハイキングに来る方については、事前にすべて用意をして来る方もいてございます。かというて、たまたまそこに立ち寄ったので、一回歩いてみようかという形で行かれる方も、これはいろいろおるかと思うんです。ただ、スタートになるのは定福寺周辺という形で、やはりそこからのスタートという形で一般の方は来られると思いま

すので、やはりその辺なんかも含めて、玉川まで降りるまでの間には約4時間ぐらにかかるといふふうに思いますので、そういったことも踏まえて、今後検討も加えていきたいなというふうに考えてございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）もう一つ、私の意見と地元の意見なんですけども、三軒茶屋大常夜燈籠が黒河道の入り口という説もあります。その説も心にとめておいてください。よろしくお願ひします。

4番、これを機会に賢堂定福寺周辺の環境整備、これはまずお寺の周辺ですから、まだ区民が生活しているわけです。その生活が一番でありますので、これから整備を行っていく上で、住民との意見交換など、そういう機会はとっていただけますでしょうか。

○議長（井上勝彦君）経済部長。

○経済部長（浦 彰伸君）三軒茶屋の話も出たんですけども、まず定福寺の関係でございます。定福寺をスタート地点とするならば、やはりその周辺等々とも、地元のご意見等も聞かせてもらわないことには、施設をしないは差しおいたところで、やはり地元の人に迷惑もかかるというようなこともございますので、施設を整備していくという方向が定まった段階で地元と協議もさせていただいて、地元のこういうふうにやっていただきたいんだということも、要望として承りたいなというふうに考えておるところでございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）よろしくお願ひします。

そしたら5番なんですけども、これを機会に紀伊清水駅周辺の歴史発掘、表示とパンフレットなんですけども、私、商工観光課の前にある、こういうチラシですか、せっかくライブ中継しているということで、ちょっと映ってますでしょうか。せっかくなので、こん



ないパンフレットを当局並びにその関係の方々につくっていただいているのに、場所です。私、たまたまこれを見たのでいいんですけども、特に市外の方とかに、こういうのを知っていただく、見ていただかないと、これは意味ないと思うんですけども、基本的に今、どこに置いてあるんですか。

○議長（井上勝彦君）経済部長。

○経済部長（浦 彰伸君）黒河道の関連するパンフレット、いろいろございます。パンフレットによって、場所については若干違うわけでございますけれども、やはりPRしなければいけないということで、当然のことながら市役所、あるいはまた橋本駅前の観光案内所、そしてまた紀北川上農協、やっちゃん広場、農家レストラン等、集客のあるところに今現在では置いてあるところでございます。あとまた行政機関の窓口、振興局をはじめ、あるいはまた和歌山県庁といったところにも現在配布しておるところでございます。

また、市外ということでございます。現在でも、これは名古屋の観光センターにも置いてございまして、あるいはまた和歌山県の紀州館、東京にあるんですけども、そちらのほうにも置いてございます。

ただ、議員ご指摘のとおり、市外の方にまだ周知度がなかなか高まっておらないという形で、今後は、南海電鉄の主要な駅に置くようにお話ししていきたいというふうに考えておるところでございますので、どうかよろしくお願いしたいと思います。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。次、南海電鉄とかJRの各駅をお願いしていただけませんかと思うんですけども、その分もお答えいただいてありがとうございます。経済部長の熱意はものすごく私、伝わっております。よろしくお願いします。

賢堂、黒河道、よろしくお願いします。

今後、九度山町の背中を押す意味でも、やはり黒河道、世界遺産といたら木下市長なので、決意表明というか、何かいただければありがたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（井上勝彦君）市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）堀内議員の質問にお答えしたいと思います。

私としては、人口減少ということは、もうこれはご承知のとおりであります。これを補完するためには、観光に力を入れる以外ないなど、そう思っておるわけでありまして。そのためには、これは黒河道だけの問題やなくして、ダイヤモンドトレールもありますし、いろいろ市内にあるわけでありまして、市内に限らんわけで、やっぱりこれは少なくとも高野山はじめ広域観光という中で、しっかりと煮詰めていかなければならない。基本はそうやと思うんですね。

それで、今後そういう遺跡とか歴史の、本当に発掘できるような、どこに何があるかというものを真剣に一回検討するような委員会をやっぱりきちっとつくって、そしてそこで、そこは観光のベテランの人もおるし、また文化、歴史の古い造詣の方もあつて、委員会をつくって現況調査をすると。真剣に勝負でやっていくということが基本やと思うんです。

その中で、黒河道も一つでありますので、それはまたそれで検討いただくと。堀内議員の家へまず看板早く上げて、黒河道の休憩所、それぐらいのことをぱっと胸張って、そうして定福寺はこの前の100m上ですよというように、そこらから花火を上げていかんなど。そしてまた内定しましたら、あわせてそういうほこらとか標識、これを細かく立てていかなければならないと思います。

そして、やっぱり昔の思いを現代人が理解していただいて、通行する形をとっていただければと思います。

それで、戸谷新右衛門というのは、私も現場へ前に行ったことがある。看板立ててますやろう。あれ私、今、県のほうで立ててもうたんですよ。あれは非常に意義が深いわけですよね。生きたまま石子詰めであれされた気の毒なね。ああいうのも、本当にもったいないですね。もっとね。過大にまではいかにしても、表示してわかるように、できるようにしなければならない。

いろいろあろうと思いますけども、教育委員会が中心になって、そして一つになって地域おこしをしていくと。上に明神ヶ田和あるでしょう。あこらで日曜日か土曜日に、焼きもち焼きでもするぐらいに考えといてください。

それで答弁になったかどうかわかりませんが、よろしく願いいたします。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。そしたら2番目の質問はこれで終わります。ちょっと時間がないので、3番、よろしく願いいたします。

○議長（井上勝彦君）次に、質問項目3、野球場もしくは運動広場に関する質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

〔建設部長（松浦広之君）登壇〕

○建設部長（松浦広之君）野球場もしくは運動広場についてお答えします。

「橋本市運動公園の空き地を多目的グラウンドに」及び「空き地内の私有地の買収予定はありますか」についてですが、橋本市運動公園は昭和55年に都市計画決定を行い、昭和57年に計画面積34haで都市計画の変更し、国庫補助事業として実施してきたところです。

その後、用地買収とともに市民プール、テニスコート、多目的グラウンド等の整備を行い、体育館については、和歌山県事業として整備していただいたところです。

現在、2地権者約0.9haの土地が未買収となっています。当時、何度も交渉を重ねたところですが、取得に至らなかった経緯があり、施設整備も含めて平成17年度において事業を終了し、現在に至っています。

現在は、学校施設の耐震化対策や大規模修繕、その他既存施設の長寿命化事業等数多くの事業がある中、橋本市運動公園の再整備を含めた区域内の私有地取得は、将来の研究すべき課題と考えますが、直ちに計画の検討を行う予定はございませんので、ご理解よろしくをお願いします。

○議長（井上勝彦君）教育次長。

〔教育次長（山本芳弘君）登壇〕

○教育次長（山本芳弘君）先ほどございました3番目、野球場もしくは運動広場につきましての3点目、4点目についてお答えいたします。

昨年9月のような台風被害により南馬場運動公園が使えないとき、かわりの場所はないかとのご質問ですが、少年野球につきましては向副緑地や小学校グラウンド、成人の野球については市内中学校・高等学校や市外のグラウンドをご利用いただきました。

しかしながら、社会人野球の県大会など、成人の野球については使用可能なグラウンドは限られており、開催が難しい状況であります。

社会人野球の大会を開催できるような野球グラウンドの建設につきましては、生涯スポーツ振興の上で将来の課題と認識はいたしておるところですが、現在、具体的な計画策定の予定はございませんので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君、再質問  
ありますか。

16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

1番、2番お答えいただいたので、一緒に再質問させていただきます。平成17年に事業を終了したというのはよくわかっておるわけですが、今、現状の使用というか、このままほうっておいて、たまにイベントごとがあれば駐車場になっているという私のイメージがあるんですけども、市の土地の有効利用角度から見て、将来の課題ではなくて、今の課題として用地買収というのはご検討いただけないですか。お願いします。

○議長（井上勝彦君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）ただ今の利用状況ですけども、議員ご指摘のように、一応、仮駐車場という形で、土地については有効利用という形でしておりますが、利用頻度ということになりますと、おただしのおり、何かイベントごとがあったときに限りということでございます。

そういう観点から申しますと、用地取得等につきましては0.9haを残して概ね済んでおるわけですから、本来、この土地の利用を仮ではなく、どういうふうにしていくかというのは確かに課題ではございます。

そんな中で、先ほどの答弁でも現状いろいろ、各学校施設の耐震ですとか長寿命化、あるいはその他施設の長寿命化で、当面やはり財政的には非常に苦しいものですから、そういったところが一段落したときにはじめて未買収地をどうするかと、あるいは土地利用をどうするかということになりますので、現段階ですぐにということにはなりません、将来のその時期をにらんで、今からもろもろ準備、研究はしていきたいなというふうには考えております。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

財政苦しいのもわかりますが、課題はできるだけ、次の世代に持っていくのではなく、次の世代のための先行投資的な考え方でいただけたらありがたいと思うんですけど、いろいろあるとは思いますが、これぐらいで。きょうがスタートラインやと僕は思っていますので、きょうはこれで結構です。

3番に移らせていただきます。今回のような台風により、南馬場運動公園が使えないときのための他のグラウンドの、かわりの場所のご答弁についてですが、国体のソフトボールの話は別で聞いていただきたいんですけども、市内中学校、高校や市外のグラウンドというふうにご答弁いただいておりますが、どこに聞いたらどこを貸してくれるんですか。具体的にちょっと教えていただけないでしょうか。

○議長（井上勝彦君）教育次長。

○教育次長（山本芳弘君）私、先ほど市内の中学校という形で、ちょっと成人野球については学校名は直接言わなかったんですけど、グラウンド状態から言えば、成人野球で使えるというのは、中学校の場合は高野口中学校、ある程度限定されてくるわけです。中学校については、私ども教育委員会のほうに一定、声かけていただいたらいいわけなんですけども、高校のほうは私どものほうで管轄をしておらないので、県立高校になるので、直接そちらとも協議をした上でという形になってくると考えております。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）高校のグラウンド、野球グラウンドといたら、これは立派なグラウンドなので、貸していただけたらそれはありがたいことなんですけど、その点も要望というか、県と市の絡みになるので、公立高校

については、市がというのはちょっと無理やと思うんですけども、やっぱり大会云々となったときは、やっぱりあるべきものであると。あるべきものがないというのが今の現状やと思いますので、その点もよろしく願いいたします。

次、4番なんですけども、今後、球場までの設備でなくとも、野球グラウンド、ソフトボールも含んでるんですけども、橋本市内でご検討できませんか。社会人の野球の県大会の開催というは、グラウンドがないがために実際のところ無理です。見えもあるんですけどね。橋本市、ないやないかとよく言われるので、それは私、指導者もかじったことがありますし、また自分もやっておりますので、あるにこしたことはないとか、あればうれしい。だから、そういうプレーヤーの目線と指導者の目線と、両方兼ね備えておるつもりではおるんです。

だから、やっぱりスポーツを育成していく上で、野球人口というのはかなり、我々世代から上は特に多いと思いますので、ないというのは、ある、ないの話になるとまた部署変わってくるんですけども、教育委員会には野球があればいいな程度で思っていたら結構ですので、ここから私、自分でやりますので、またそのことはよろしく願いいたします。

経済部長にちょっと振らせていただきたいんですけど、県大会云々をこっちでやれば人が来る。これはすごいありがたいことやと思いませんか。

○議長（井上勝彦君）経済部長。

○経済部長（浦 彰伸君）経済的な効果だけ考えればいいことやと。悪いこととは決してこれは思っておりません。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）ありがとうございます。

私もそのとおりで、よそへ私らよく県大会に行くんです。行ったらやっぱり結構なお金を落としてくるんです。小さな積み重ねこそが税金につながるのではないかなと。こつこつと。やっぱり小さなことからこつこつみたいな感じで思っていたら結構です。

あと、ちょっと答弁もれになるんかわからないんですけども、次に、公式についてですが、公式の公というのは先ほども説明させていただいたんですけども、軟球の球を使う野球と、硬式の硬球、硬い球を使う、2種類に分かれる硬式を私はイメージしているんですけども、この硬式につきましては、南馬場のグラウンドをよく練習に使っておられると思うんですけども、あそこはもう、あそこしかないと思うんです。もっと広い、いいところでやらせてあげたい。あの中にプロ野球予備軍がおるわけですから、もっと立派な環境で伸び伸びさせてあげたいんですけども、あそこは公園でもありますし、サッカー場もありますし、バスケットの屋外の施設もあると思います。そういったところに対して、石ころのような硬球が飛んでくるという危険度の認識というのは考えておられないんですか。

○議長（井上勝彦君）教育次長。

○教育次長（山本芳弘君）南馬場ですと、今現在ABCという形で、西寄り、特にA、Bについては軟式野球、硬式野球が使われて、Cについてはサッカーグラウンドという形になっております。その中で、今、硬式野球という形のほうを言われたんですけど、飛んでくるボールで言えば、硬球しかり、軟球しかり、どちらにしても当たれば危険なものになるかと思います。

ただ、実際のグラウンドの大きさを見ていただければ十分わかっていると思うんですけど、だいたい100m、幅的に東西にはあります。実際のところ。利用されている選手

同士であれば、十分その辺については注意して、留意した上で練習等、試合もしていただいていると思いますので、その部分については一定、私どもどうこうというよりも、実際、対応されている現場の監督・コーチの方含めての対応を図っていただいていると思います。

それともう一つは、その南側に桜づつみというんですか、堤があります。そこを結構利用されて、散歩コースとかにされている方もおられるわけですが、その野球等について、やはりしていただく、ちょっとバックネットが南側のほうについているので、ライト方面というんですか、右翼方面に飛ぶ球とか、センター方面もそんなに心配要らないんですけど、若干ファウルボール的なものが飛ぶんではないかなというふうに考える点もあります。

それと、利用されている件数的なものを見ますと、硬式野球が多いのが月・木・金・土・日ですか。軟式野球のほうが土日に中心に使われているというのも実際のところあります。そうした中で、現在言えることは、当たれば危険というのは十分あるんですけども、やはり先ほど申しましたように、練習、試合等についても十分通行人のほうも配慮いただいた上でご利用いただきたいなど。現状ではそう申させていただく以外、ちょっと対応をとりにくい面もございますので、でき得る限り、ご利用いただくときについては、通行人等も留意した上でご利用をお願いしたいという形でしたいと思います。ちょっと答弁になりにくいんですけども。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君。

○16番（堀内和久君）私も難しいことを聞いているので、答弁が難しいのはようわかります。ただ、硬式というのは軟球と違って、当たったとき、当たった人間しかわかれへんと思うんですよ。彼らは、僕、一生懸命やっておる

と思うし、指導者も保護者もグラウンドを確保するの必死やと思うしね。やっぱりあいう、これから未来のある子らは、もっともっとええとこでやっついていかんと。例えば、県大会より上の大会に行くときも、やっぱり雰囲気とか、打った球のちょっとしたことでも、ええグラウンドでやってる子らのほうが強いと思うんです。はっきり言うて。そんな子どもなんか変われへん、そのときのあれで全然勝ち負けというのは変わるんです。トーナメントというのは。そういった意味でも、伊都・橋本の野球やってる中学生、高校生、もっとレベル上げていけるだけのセンスがあるんです。あとはもう行政側がどれだけ手を差し伸べたるかというだけの話になってくると思う。これからの課題やと思うので、きょうは時間がないので、この辺にさせていただきます。

あと、最後になるんですけども、大ざっぱに申し上げて申しわけないんですけども、野球グラウンドというのは、この二十数年にわたってだれもなし得なかったこと、欲しいけどお金がないから無理、親が子に教育するんやったら無理なものは無理、当然やと思うんです。そやけど、ないからどうするんや、無理やからどうするんなというの、お互いに寄り添うて考えていくことも新しい形なんではないかなと。ないから無理ではなくて、ないからどうしようと、お互いに皆で相談して歩み寄れるいい答えというのは、もう先輩方はようわかってると思うんです。ちょっとずつ歩み寄りというのが、どの分野に対しても、これからの一歩目いけると私は信じておるつもりなんですけども、その点も踏まえまして橋本市の観光を活性するというところで、野球グラウンドもその一つの選択肢であるということだけご認識いただければと思います。よろしく願いいたします。

最後になりましたが、いつもこの質問にあたり、手をとめていただいた職員に感謝申し上げます。一般質問を終わります。ありがとうございます。

○議長（井上勝彦君）16番 堀内君の一般質問は終わりました。